

ワーキング部会報告書

第2部会	B班	開催日	平成26年9月4日(木)	会場	さいわいプラザ6階 大会議室
テーマ	保育ニーズを支えるには ～今後10年の0・1歳の保育ニーズの担い手作り～				
内容	<p>1 「家庭」と「保育者(園)」の「心のゆとり」を作り出すために必要なことは何か。</p> <p>(1)「保育者(園)」の心のゆとりをつくり出すために</p> <ul style="list-style-type: none">①保育者だけに保育を担わせないしくみづくりが必要<ul style="list-style-type: none">・「保護者と職員」、「職員同士(正規・パート等の職種、園の枠組みを超えて)」が共有・共感するしくみ(保護者参加型誕生会、男子保育士会、PTAイベントの充実、職員間の情報共有 等)②特別保育部分のプラットホーム化、保育士バンクの創設ほか<ul style="list-style-type: none">・休日、一時、夜間、病児・病後児保育を総合的に行うプラットホームを創設(アオーレで?!)・早番・遅番専門の保育士バンクの創設(ファミサポなど既存の団体と連携ほか)③保育士の質の向上(知識・経験不足を補い、メンタルを強化する)のための場を設ける<ul style="list-style-type: none">・高校⇔専門学校⇔園で連携した人材育成のスキームづくり、研修機会の提供(専門学校との協力)④「保育士」に「やりがい」を持てるようにするための制度づくり<ul style="list-style-type: none">・保育士の地位向上(給与の向上)・子どもに対する保育者の数を増やす(保育園の園長を「保育士」としてカウントできるようにする) <p>(2)「保護者」の心のゆとりをつくり出すために</p> <ul style="list-style-type: none">①ワークライフバランス<ul style="list-style-type: none">・育児短時間勤務(残業なし)、低学年までは早朝、夜間の勤務を免除してもらえる職場体制②社会の意識を変える(施設整備含む)<ul style="list-style-type: none">・胸をはってリフレッシュのために保育園が利用できる、市内全てバリアフリー化③協力者・同志をつくる<ul style="list-style-type: none">・イクジイ、イクバア、地域の人など、様々な世代の人が子育てに関われるしくみづくり、夫の理解・協力・離乳食の会食サービス(みんなで離乳食を食べる機会の提供)④経済的支援(保育料に対し、医療費並みの補助を入れる)⑤保育コンシェルジュ <p>2 1を実現するために</p> <ul style="list-style-type: none">・何か1つでもやり抜く⇒社会が変わる・1の項目の中で、一番最初に取り組むべきことは何だと思うか。(1人1票) <p>⇒ ワークライフバランス(4票)、保育者だけに保育を担わせないしくみづくり(3票)、経済的支援(1票)</p>				